

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 急性 A 型大動脈解離術後の遠隔期成績に関する研究

研究の目的

急性 A 型大動脈解離の手術成績は向上しておりますが、残存解離に対する治療が必要となることがあります。そのため 2010 年から Frozen elephant trunk 法 (FET) と呼ばれるステントグラフを併用した上行弓部置換術を症例に応じて行ってきました。今までの人工血管のみの上行弓部置換術と FET を用いた上行弓部置換術について、周術期成績および長期成績について評価し手術戦略の妥当性について検討することが目的です。

研究実施期間： 実施許可日～2026 年 3 月 31 日

対象となる方： 2002 年 1 月 1 日から 2022 年 8 月 1 日までの期間、当院胸部心臓血管外科で、急性 A 型解離として緊急で上行弓部置換術を受けた 20 歳以上の患者 139 名 (性別不問)

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、術前の併存疾患、術前の画像所見、(CT、冠動脈造影、頭部 MRI、心電図検査、心臓超音波検査)、術中の人工心肺記録、術後の採血検査データ、術後の CT 検査について、標記研究のために利用します。

具体的には、周術期成績および長期成績、術前術後の下行大動脈径と大動脈イベント (追加治療、再治療、大動脈関連死) について、統計解析的手法を用いて比較することで、FET 法の有用性について明らかにしたいと思えます。なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して (これを匿名化といいます)、行います。研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん / その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	胸部心臓血管外科学講座・今村優紀 0172-39-5074
-------	-------------------------------

